

教科(科目)	福祉(介護総合演習)	実施学年 (履修規定)	第3学年 必修
単位数	福祉科 2単位	教科書	介護総合演習(メヂカルフレンド社)
		副教材	
科目の目標	介護演習や事例研究などの学習をとおして、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、課題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。		
目標達成に向けての取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習施設の役割と機能、施設利用者とその家族の生活ニーズを理解し、そのニーズに対する介護福祉士の役割を明確化できる。</li> <li>・介護実習と関連させ、専門他科目で学んだ知識・技術を実習で展開するための学習課題を言語化・明確化できる。</li> <li>・介護過程と関連させ、介護実習時の情報収集とアセスメント、ケアプランの作成について理解し、実践できる。</li> </ul>		

◇ 進度

月	単元	学習内容・項目・活動等	評価方法・項目等	評価の規準等
4	実習計画の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>○年間計画と実習の意義と目的</li> <li>・介護実習の内容</li> <li>・実習の準備</li> </ul>	実習記録	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習への心構えができてい</li> <li>る。</li> <li>・事前学習や準備ができてい</li> <li>る。</li> </ul>
5	介護実習の準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護実習の達成課題と達成方法</li> <li>○介護実習の進め方</li> <li>・実習施設研究</li> <li>・健康管理(実習前健康診断)</li> <li>・実習生としての基本事項</li> <li>・目標設定</li> <li>・実習記録</li> <li>・実習施設オリエンテーション</li> <li>○応用実習の意義と目的について</li> </ul>	実習記録 実習先打ち合わせ記録 健康診断	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習への心構えができてい</li> <li>る。</li> <li>・事前学習や準備ができてい</li> <li>る。</li> <li>・実習の目標設定ができてい</li> <li>る。</li> <li>・記録の記入方法が習得でき</li> <li>ている。</li> <li>・自分の実習先施設について</li> <li>事前学習ができてい</li> <li>る。</li> </ul>
6	応用実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事例研究の目的と意義</li> <li>・事例研究の進め方</li> <li>・実習における取り組み</li> <li>○応用実習</li> </ul>	実習記録 実習評価表 実習先指導者聞き取り 実習先打ち合わせ記録	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習に意欲的に取り組めて</li> <li>いる。</li> <li>・実習前半の振り返りができ</li> <li>ている。</li> </ul>
7	応用実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事例研究の目的と意義</li> <li>・事例研究の進め方</li> <li>○応用実習</li> </ul>	実習記録 実習評価表 実習先指導者聞き取り 実習先打ち合わせ記録	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習前半の振り返りができ</li> <li>ている。</li> <li>・実習後半に向けての心構え</li> <li>ができてい</li> <li>る。</li> <li>・実習に意欲的に取り組めて</li> <li>いる。</li> </ul>
8	実習の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実習の振り返りによる整理</li> <li>・実習記録</li> <li>・実習のお礼</li> <li>・プロセスコード</li> </ul>	実習記録 実習評価表 実習先指導者聞き取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習記録が適切にできてい</li> <li>る。</li> <li>・自己の振り返りができ、課</li> <li>題が明確化している。</li> </ul>
9	事例研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例研究の目的と意義について</li> <li>・介護過程</li> <li>・実習報告会</li> <li>・実習後感想文</li> </ul>	実習記録 実習評価表 感想文	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報収集とアセスメントが</li> <li>できてい</li> <li>る。</li> <li>・自己の振り返りができ、課</li> <li>題が明確化している。</li> </ul>

月	単 元	学習内容・項目・活動等	評価方法・項目等	評価の規準等
1 0	事例研究	・事例研究	アセスメント表 介護過程 事例研究レポート	・情報収集とアセスメントが できている。 ・適切な介護目標の設定が できている。 ・情報機器等を使用し、事例 研究発表の準備ができている。
1 1	事例研究発表 国家試験対策	・事例研究発表会 ○国家試験対策による整理	事例研究レポート 発表 自己評価	・自己の振り返りができ、課 題が明確化している。 ・介護目標が適切に計画でき ている。 ・学習に意欲的に取り組めて いる。
1 2	国家試験対策	○国家試験対策による整理	自己評価 国家試験模試	・学習に意欲的に取り組めて いる。
	冬季休業			
1		○国家試験対策による整理	自己評価 国家試験	・自己の振り返りができ、課 題が明確化している。 ・学習に意欲的に取り組めて いる。
学年末考査				

#### 評価の観点及び趣旨

科目を3年間で分割履修する2年次である。「介護実習」で多様な介護現場を実際に学ぶため介護実習（基礎実習）において7月に12日間、8月下旬～9月初旬に11日間の実習を実施する。そのため、実習事前、実習中、実習後の指導を計画的に指導する。介護福祉士受験資格を得るためには校外介護施設での実習が必修であるため介護総合演習における指導と連携して科目の目標が達成できるよう指導する。

##### ① 関心・意欲・態度

社会福祉に関して学んだ基本的知識や技術を、高齢者や障害者の総合的介護における対人援助場面において、実践して主体的に学ぼうとする。また、社会福祉現場実習を通じて介護専門職の職業観、勤労観を持つ。

##### ② 思考・判断

社会福祉に関して学んだ基本的知識や技術を、高齢者や障害者の総合的介護における対人援助場面において、統合的に思考し判断できる。

##### ③ 技能・表現

社会福祉や介護に関して学んだ基本的知識や技術を活用して、高齢者や障害者の総合的介護において、総合的に援助の技術を用いて、適切に表現する。

##### ④ 知識・理解

社会福祉における高齢者や障害者の介護や福祉後識や技術を科学的に理解する。

#### 「社会福祉実習」の総合評価における各観点の割合

- |            |       |         |       |
|------------|-------|---------|-------|
| ① 関心・意欲・態度 | 25%程度 | ② 思考・判断 | 25%程度 |
| ③ 技能・表現    | 25%程度 | ④ 知識・理解 | 25%程度 |

・介護実習と関連づけ、事前・事後学習等を通じて、主体的に介護実習に臨み、実習課題や成果を明確化できるようにする。

・介護従事者としての職業倫理や自己課題の把握等ができ、専門職として意識を高めることができる。